

# 社会科学研究所報告

## I 青柳清孝教授、社会科学研究所長に

青柳清孝教授（人類学）は、1980年4月、社会科学研究所長に任ぜられました。藤田忠教授の後任で、任期は2年。

## II 研究員異動

○齊藤（水野）綱子研究員は、1980年8月31日付で本研究所を退任、社会科学科専任助手に任ぜられました。後任として、太田亮氏（本学大学院行政学研究科）が研究助手として、11月1日付で発令されます。  
○日本国際交流基金により、アベリノ P. テンデーロ教授（ファーイースタン大学、フィリピン）が研究員（1979年4月～1980年4月）として、及び、アルブレヒト ロタハー氏（ロンドン スクール オブ エコノミックス）が研究助手（1979年9月～1980年4月）として、研究活動のため本研究所に滞在されました。

## III 刊行物

「社会科学ジャーナル」 第18号(1)、140ページ、1979年12月。横田洋三、P.F.J. マクローリー、村上雅子、藤田忠、樋口和彦、水野綱子、森山昭郎の各氏が寄稿されています。

「社会科学ジャーナル」 第18号(2)、「特集社会学・人類学」、196ページ、1980年3月。原喜美、田口槇子、新津晃一、大森元吉、谷口佳子、杉本良男各氏の論稿、及び、研究所報告として、1979年4月～1980年3月までに行なわれた公開セミナーの紹介が掲載されています。